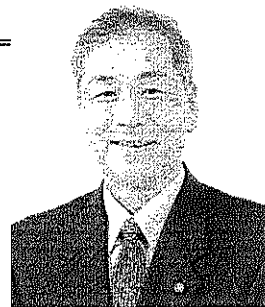


こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2018年3月18日号



弁護士の福山和人さんが、南区内で訴え

命に寄り添い、憲法を守り暮らしと府政に生かす、府民を丸ごと応援、人をつなぐ、なりわいをつなぐ、夢をつなぐ、未来へつなぐと訴えられました(3月11日、九条七本松にて)。



●市立崇仁保育所の民間移管方針は撤回すべき。理由は何か。
 ○保育分野では民間が頑張ってもらっている。
 ●歴史的に、京都の保育分野では、市は民間

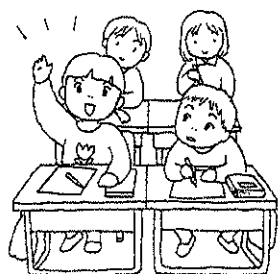
●それが本音だ。要するに公的責任の縮小だ。子育てに困っている家庭の応援等、児童相談所や福祉事務所との連携など公立の果たすべき役割は小さくない。
 ※ ※
 ●それは理由になっていない。本来の理由があったうえで、その場合、民間に任しても大丈夫だという条件を言っているに過ぎない。
 ○お金が掛かっても必要な事業はやる。
 ●では財政で安上がり
 ○民間にできることは民間に。

国政・府政の激動の中、市長に要求実現を求める 教育・福祉分野など市民の切実な要求を背に受けて

開会中の市議会で、井上けんじ議員は、中学校給食の実現、子どもの医療費助成制度の拡充、学校や保育園等での保護者負担の軽減、また寝たきりの重度障害者の褥瘡防止の為にウォーターマットへの公費助成を、民泊の規制を、等々、様々な市民の願いを取り上げています。更に、市立病院の在り方についても

中学校給食の実現を

●予算規模180億円とのことだが根拠はどうか。
 ○親子方式66億と自校方式103億、人件費10億円(親子方式とは、既存の小学校の調理室で作った給食を近くの中学校へ運ぶ方式)。
 ●神戸市では運営期間を40年と設定し、詳細な調査をやっている。参考にもすべき。全国



的の実施率はどうか。
 ○完全給食(米またはパン、おかず、ミルク)で全国80%。
 ●相当な数字だ。京都も続くべき。国会でも「子どもの貧困など給食は有意義」との答弁。共働き家庭やシングルも増え、朝の弁当づくりも大変だ。
 ○給食の意義は分かる。
 ●他都市のアンケートでも親の願いは切実。先生も実施前は少なかつた賛成派が、実施後の調査では「よかった」との回答が増えている。保護者の声を聞くなど前向きに検討を。
 ○引き続き検討する。

メッセージ

井上けんじ 前代人権証人
 … 確定申告時期に国税庁長官辞任とは含めなげなウソの経緯を明らかにさせないで、安倍内閣を。この経過を明らかにし、最早内閣全体の責任が問われなければなりません。今、国民の世論と運動が政府を追い詰めています。

重税反対全国統一行動
 13日、南区でも集会とデモ行進で集団申告。残念ながら井上市議は議会の為に参加できず、左記のメッセージを送りました。

その他、同議員は、保育・学童保育労働者の待遇改善等々を求めました。